

北上市在宅医療介護連携推進事業  
令和 5 年度事業計画書

令和 5 年 7 月

北上市福祉部長寿介護課・北上市在宅医療介護連携推進センター

## 令和5年度北上市在宅医療介護連携推進協議会事業計画

### 1. 第Ⅳ期：令和3～令和5年度の位置付け

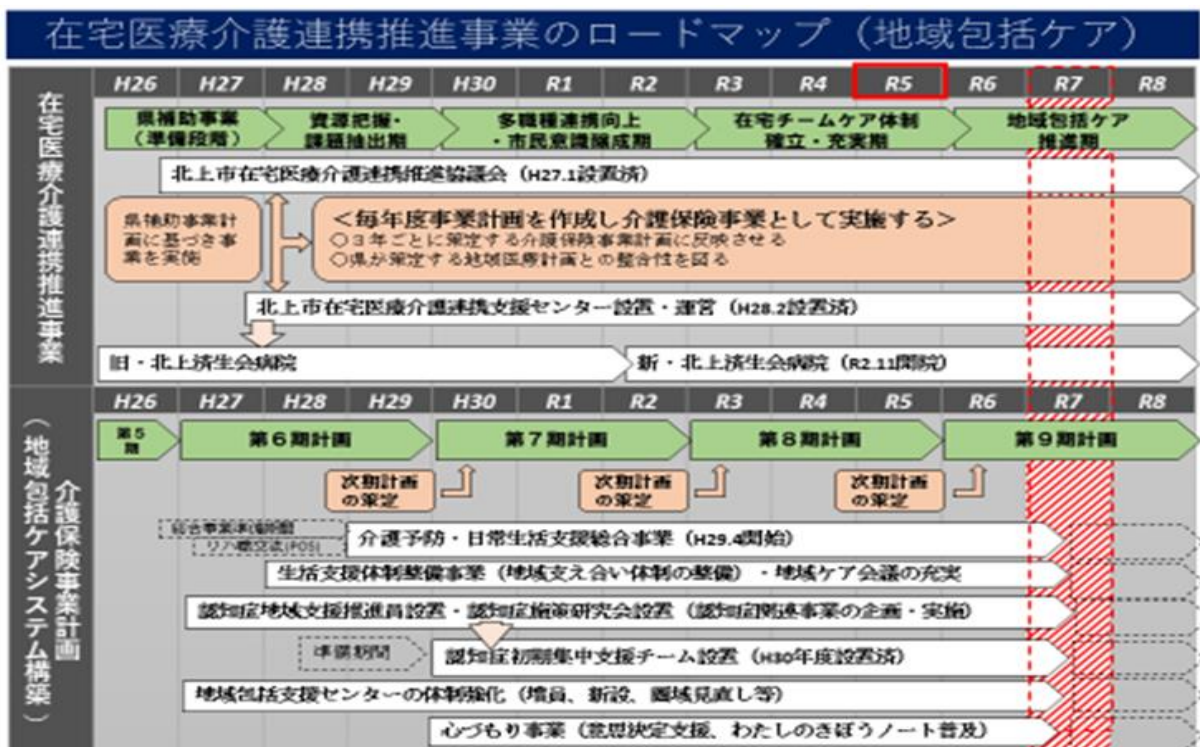
北上市の在宅医療介護連携は、協議会設置から7年経過し、関係者が課題の解決にそれぞれ取り組むのではなく、同じ理念（**介護や医療が必要となっても、世代を超えた地域のつながりの中で安心して暮らすことができ、いつになっても自らの意志で自分らしく生きることができる、長寿を喜び合えるまち**）を共有し、お互いの強みを出し合い、これまで地域資源把握及び課題抽出と、多職種顔の見える関係性とネットワーク形成を進め、多職種連携向上と市民意識の醸成を図ってきました。

現行の「きたかみいきいきプラン」の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」結果では、市内の高齢者の約55%が「要介護状態になっても住み慣れた自宅で過ごしたい」という希望を持っています。

今後、さらなる高齢化に向けて、高齢者自身の希望を実現させるためには、医療と介護の両方を必要とする要介護状態の高齢者でも、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができる環境が必要となり、この第4期の在宅チームケア体制の確立・充実に向け、医療と介護の連携拠点である北上市在宅医療介護連携支援センターを中心に、北上市医師会をはじめ医療と介護の多職種共同のケア体制を「退院支援」「日常の療養支援」「急変時の対応」「看取り」の4場面に合わせ、進めていくとともに、市民ニーズに配慮した意識啓発にも取り組んでいきます。

また、現行の「きたかみいきいきプラン」は、令和5年度までの期間となっており、今年度から計画策定に向けての準備が始まります。当協議会の事業においても、次期計画策定と合わせて、2040年を見据えた具体的な目標や取り組み内容の検討を進めていきます。（※資料：これまでの北上市在宅医療介護連携推進事業の第Ⅳ期以降のビジョン参照）

### 【北上市医療介護連携推進事業ロードマップ】



2. 第9期北上市介護保険事業計画策定との関わり

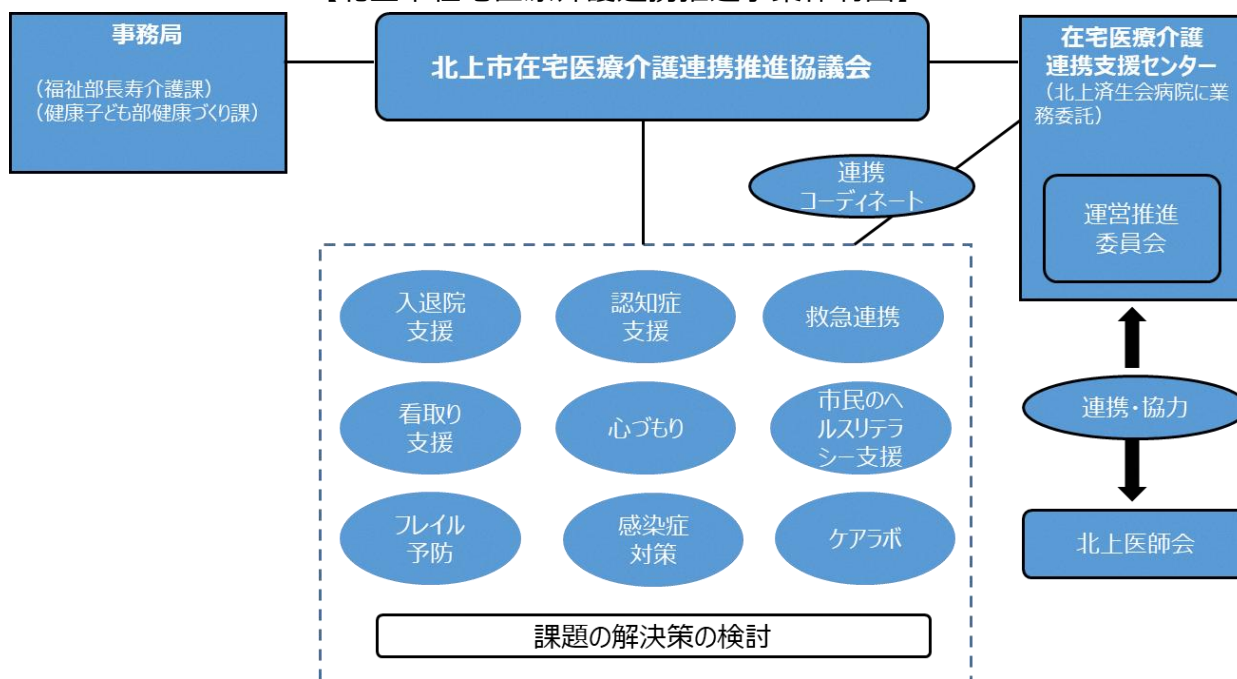
次期介護保険事業計画（令和6～8年度）策定に合わせ、現状と課題の再整理を行い、地域の医療・介護・福祉関係者とともに、あるべき姿、達成されるべき状態を考え、新しいビジョンとロードマップを策定します。

団塊ジュニア世代が高齢者になり、65歳以上人口がピークを迎える2040年へ向け、地域共生社会の実現を目指します。

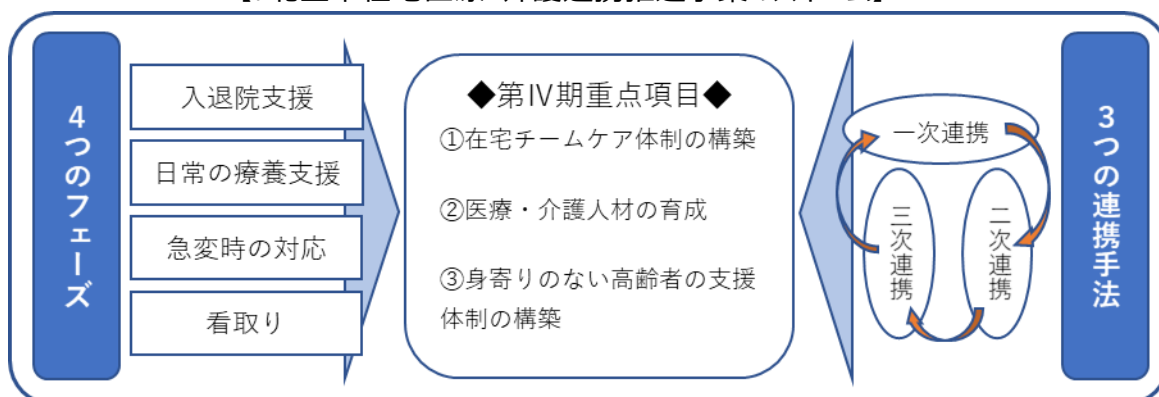
3. 策定スケジュール概要

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
データ収集							ビジョン案作成				
	分析・仮説設定								ビジョン案調整		
			調査ヒアリング						ロードマップ作成		
				アンケート集計							
					内容検討						

【北上市在宅医療介護連携推進事業体制図】



【「北上市在宅医療・介護連携推進事業のスキーム」】



#### 4. 重点事業

##### (1) 認知症施策

取組事項	内容
初期集中支援チーム	認知症サポート医、地域包括支援センター、行政が連携をとり医療サービスや介護保険サービスにつながない認知症の疑いのある方を早期発見、早期受診につなげます。 定期的に事例検討会を行い、多職種で支援方法について検討します。
認知症サポーター養成講座	認知症に対する正しい知識と理解を持つ市民を養成し、地域や職域で認知症の人や家族に対してできる範囲で手助けする人を増やします。 ソフトバンク株式会社の協力で小学校では人型ロボットPepperを講師に講座を行っています。
チームオレンジきたかみ	認知症サポーター養成講座ステップアップ講座を行い、認知症の人とその家族を支える仕組みを構築します。 介護サービス事業所でご本人の話を聞く本人ミーティングを定期的に行い、チームで本人の希望をかなえる取り組みを行っています。

##### (2) 在宅医療

入退院支援作業部会	入退院時の医療と介護の連携強化を図り、多職種協働のスキルアップと在宅チームケア体制の構築を目的として、北上市在宅医療介護連携推進協議会に作業部会を設置しているもの。令和元年度に「入退院支援ハンドブック」を作成・発行しましたが、運用面での意見や制度改正等に対応した改訂版を作成し、9月を目途に発行する。部会は3回開催するほか、改訂版ハンドブックを使った勉強会を別途開催し、医療・介護関係者の情報連携とスキルアップを図ります。
医療・介護人材育成のためのテーマ型研修	専門職を対象に4フェーズの視点（日常の療養支援・看取り・急変時の対応・入院退院）に沿った研修を提供し、医療介護連携や多職種協働のスキルアップと在宅チームケア体制の構築を図ります。 ※内容は、3基本事業③のとおり
きたかみACPセミナー	当事者とその家族等が安心して暮らせることを願い、将来の治療やケアについて、医療・ケアチームとともに話し合いを重ねていくACPのプロセスを理解し、当事者を主体とした関係性を築き上げていくために行う研修 （日程等詳細は未定） 主催：北上医師会 北上市在宅医療介護連携推進協議会
医療従事者向け権利擁護研修	認知症高齢者や身寄りがない人の増加により、医療同意、契約行為、権利擁護支援の課題の把握と成年後見制度について学ぶ。 昨年度に引き続き3病院連絡会を対象に10月開催を予定 主催：北上市権利擁護支援センター 北上市在宅医療介護連携推

	進協議会
医療・ケアチーム 症例検討会 (新規)	在宅療養、チームケア体制の確立を目指し、特に疾病を主たる要因とするケース（症例）を検討する場を新たに設け、医療・介護の専門職を中心に、年3回程度を目標に開催します。
シン・ケアラボ@きたかみ 多種職事例検討会	立場の異なる組織・個人が地域課題に向かって個々に取り組みのではなく、同じ目標を共有し、組織の壁を越えて互いの強みを出し合い、北上地域の課題解決に協働で取り組むことを目指します。 令和5年度共通テーマ：みんなで描こう「重層的支援体制」のカタチ 6月、9月、12月、3月の4回開催予定 主催：北上市在宅医療介護連携支援センター 共催：北上市（長寿介護課） 運営主体：シン・ケアラボ@きたかみ運営委員会
認定看護師等による 出前研修	介護施設（主に入所系）内における看護職員、介護職員の資質向上と介護現場での課題等を把握することを目的に昨年度からスタートした事業です。出前講座注文窓口は「在宅きたかみ」が担い、看護協会が認定看護師等を派遣するコラボ型で実施します。 主催：岩手県看護協会北上支部 北上市在宅医療介護連携支援センター 時期：随時(依頼により対応)
きたかみ 在宅医療介護 情報一覧	令和6年度稼働予定の「けあプロ・navi」への移行に向けて、医療・介護資源の2018年度版情報一覧の更新作業を行います。 編集・発行：北上市在宅医療介護連携支援センター 時期：年度内に更新完了

### (3) 意思決定支援

心づもり勉強会	ノートの改訂と合わせて開催
出前講座	市の出前講座を通じ、市民にわたしのきぼうノートの内容説明と、実際に書いてみて、自分らしい歳の重ねかたについて考えるきっかけとする。
ノート作成班	わたしのきぼうノート改訂版の発行（10月） 医療介護機関や地域にノート改訂版の周知を行い、更なる普及を図る。
市立図書館を活用した心づもりの 普及啓発	市立図書館のテーマ展示を活用し、わたしのきぼうノートの普及のほか、協議会の構成員による在宅ケアや認知症、介護予防等の書籍の紹介により、市民が心づもりや在宅ケア等について考えるきっかけとする。 期間 10月

## 5. 基本事業

### (1) 多職種が連携しやすい環境整備

### ①連携資源

『北上市内居宅介護支援事業所等ケアマネジャー一覧表』の発行・配付

### ②市民啓発・広報

- 『わたしのきぼうノート』の配付
- 広報きたかみ『かしこく歳をかさねるためのまめ知識』コーナーへの記事掲載

### ③研修・人材育成

- 医療・介護人材育成のためのテーマ型研修会（目的等は主要事業参照）

回	開催日	場所	テーマ・講師
1	7月26日（水）	北上済生会 病院大会議 室・オンライン	災害時の備えとその対応 講師：岩手医科大学医学部 救急・災害講座 教授 眞瀬 智彦氏
2	10月25日(水)		総合診療科って何？(仮) 講師：岩手医科大学 総合診療医学講座 山田 哲也氏
3	1月（日程調整中）		消化器系疾患について理解する(仮) 講師：北上済生会病院 消化器科科長 安部 圭之輔氏

- 緩和ケア研修会（新規）

医療社団法人敬和会からの相談に応じ、看護師等を対象とした緩和ケア医療に関する研修会を北上済生会病院と合同で実施する。計5回のシリーズものとして8月から開始予定。

- ケアマネジメント研修会

ケアマネ基礎講座 内容・日程調整中

- 出前研修会

随時（依頼により対応）

### ④広報

- 「在宅きたかみ」連携支援だよりの発行（四半期ごと）
- 「在宅きたかみ」ホームページの運営（随時更新）
- 関係機関・団体による各種イベントの周知協力、共催・後援の承認等

### ⑤情報連携ツールの活用

いわて中部ネット活用方法の検討、新たな情報共有ツールの開発検討

### ⑥広域連携

他市町村からの研修会講師依頼又は視察受入れ等により対応

## (2) 連携コーディネート

### ①医療・介護・福祉の連携に関わる専門の相談窓口

在宅医療介護連携支援センターに医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、社会福祉士を配置して随時対応する。

## ②職種間コーディネート

### ●北上市在宅医療介護連携推進協議会の開催

回	開催日	場所	議題
1	令和5年7月20日(木)	北上 済生会 病院	・令和4年度事業報告 ・令和5年度北上市在宅医療介護連携推進事業計画(案)
2	令和5年12月		・令和5年度北上市在宅医療介護連携推進事業経過報告 ・北上市在宅医療介護連携推進事業評価について
3	令和6年3月		・令和5年度北上市在宅医療介護連携推進事業経過報告 ・令和6年度北上市在宅医療介護連携推進事業方針(案)

### ●北上市在宅医療介護連携支援センター運営推進委員会の設置・運営

北上医師会や病院関係者を中心とした委員会を開催し、上記推進協議会の協議事項のほか、センターの運営に関して協議する。(年3回程度開催)

### ●職能団体等一次連携ヒアリング(再開)

コロナ禍で職能団体や専門職種間、事業所間の連携が滞り、現在の新たな課題やニーズが把握できていないことから、今年度から一次連携ヒアリング等を順次スタートさせる。

### ●「岩手県医師会待機支援事業」のコーディネート窓口

### ●訪問歯科診療用ユニットの貸与(歯科医師会への貸与)

### ●訪問歯科診療パンフレットの配布

必要に応じ、関係機関に配付

### ●自立支援型地域ケア会議「くらしいきいきミーティング」

月1回開催予定